

制度の目的

○スポーツ振興のための財源の確保
 (誰もが身近にスポーツに親しめる環境の整備、将来性を有する
 競技者の発掘・育成等のための財源の確保)

導入

○1998年(平成10年)超党派の議員立法により成立。同年11月施行。
 ○2000年(平成12年)静岡県限定販売。2001年(平成13年)全国販売。
 ○2013年(平成25年)法律が改正され、国際大会等の試合も対象。

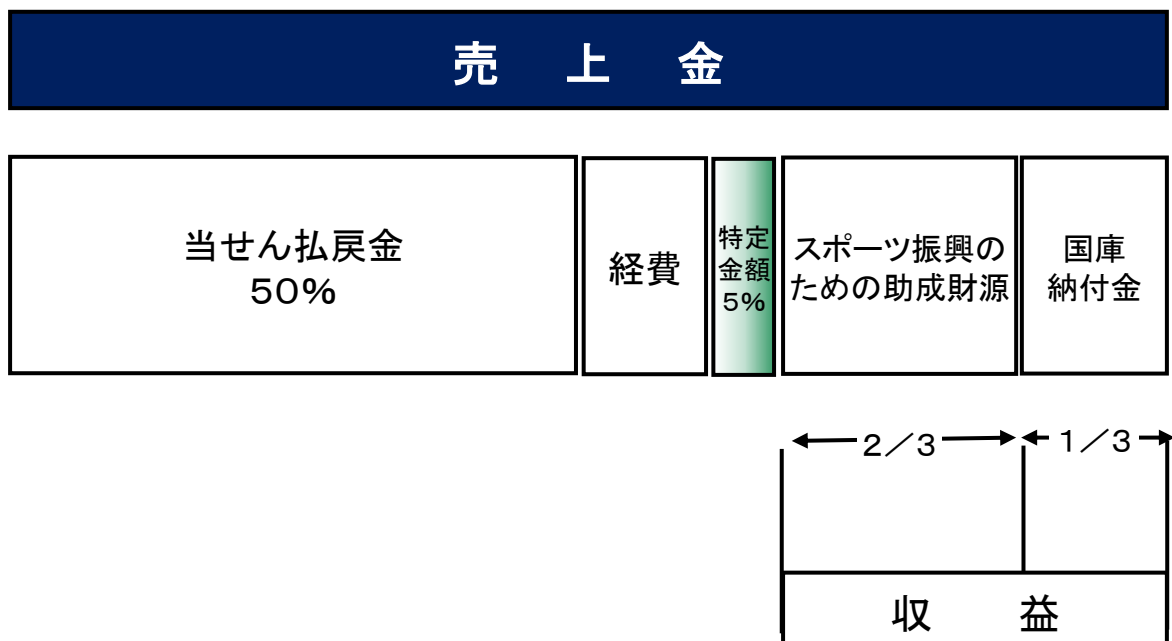
くじの仕組み

○サッカー(Jリーグ、国際大会等)の試合結果に関するくじ(7種類)を(独)日本スポーツ振興センターが発売。
 ○実際の試合結果と合致したくじを購入した者に、センターが当せん金を支払う。

販売方法

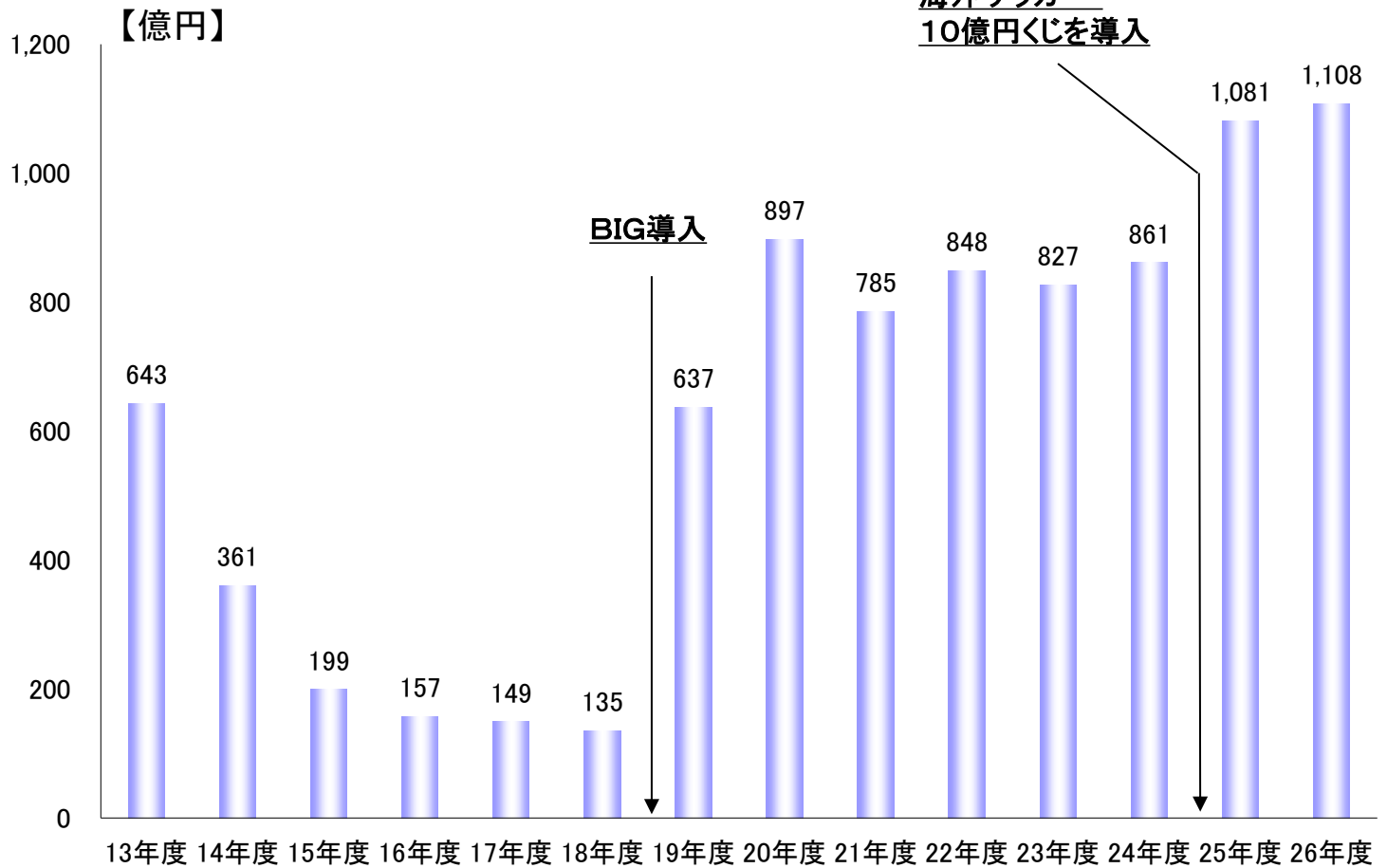
○販売場所
 ・特約店 約 2,400カ所
 ・コンビニエンスストア 約48,900カ所
 ・インターネット 8カ所
 ○販売回数 年間60回程度
 (なお、法律上、19歳未満の者がくじの購入・譲受をすることはできない)

収益の用途

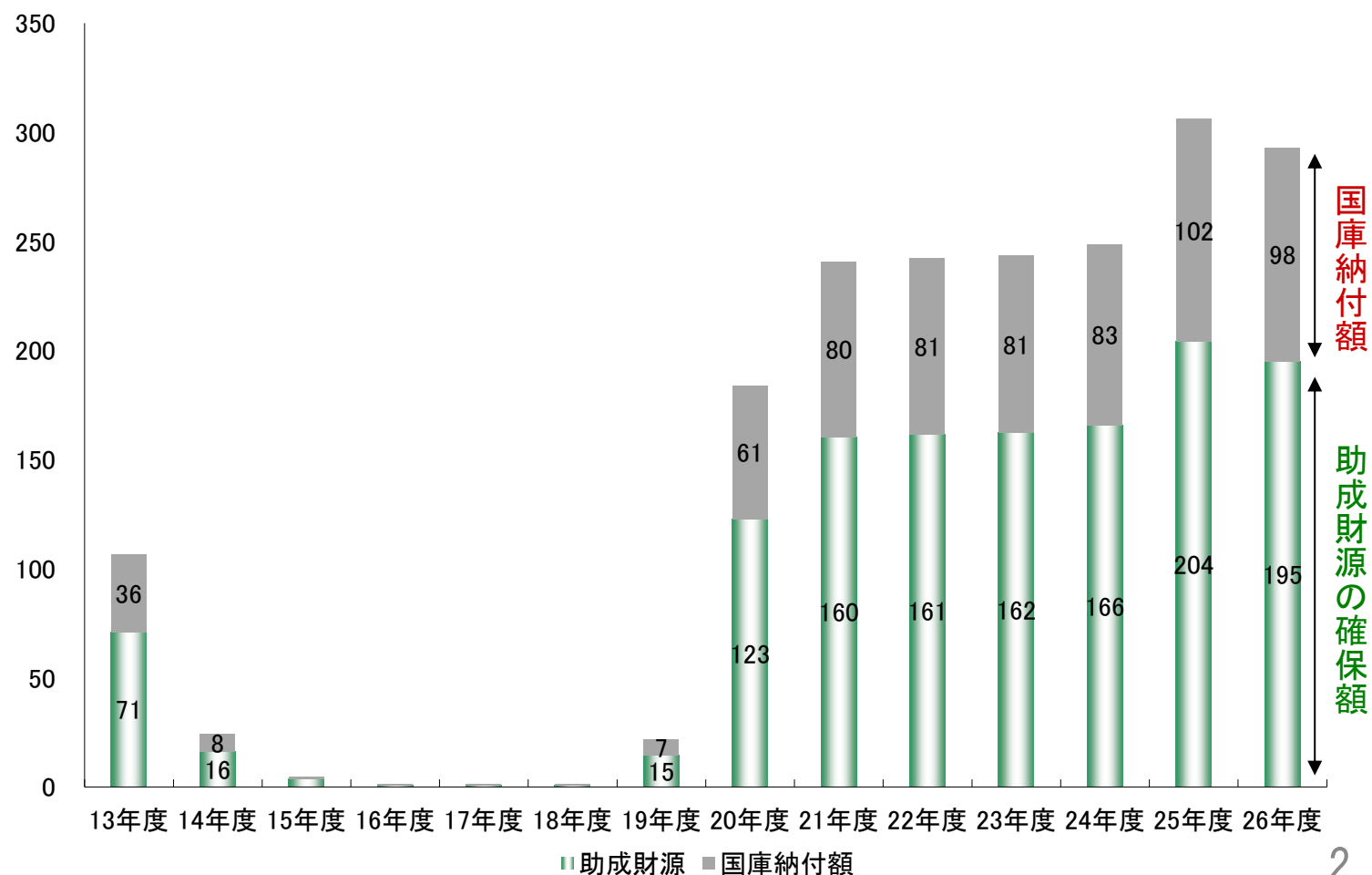


スポーツ振興くじの売上と収益の推移

➤ 売上の推移

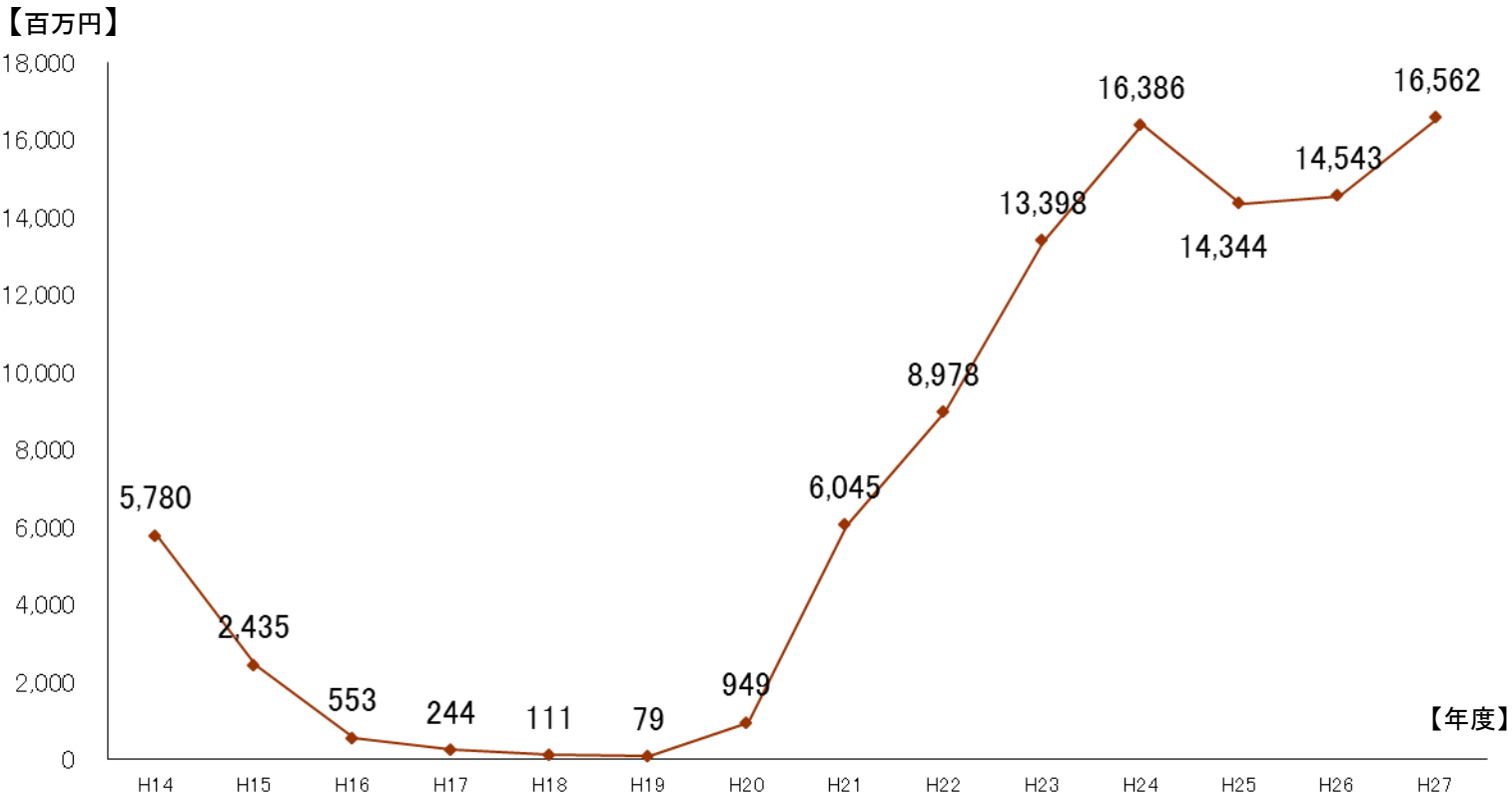


➤ 収益(国庫納付金・助成財源)の推移



スポーツ振興くじの助成金額の推移と内訳

➤ 助成金額の推移



➤ 27年度助成金額の内訳

(百万円)

助成内容	平成27年度	
	件数	配分額
大規模スポーツ施設整備助成 ※ (Jリーグスタジアムや冬季国体施設の改修を助成)	7	661
地域スポーツ施設整備助成 (グラウンド芝生化や老朽化した地域スポーツ施設の改修等を助成)	229	5,557
総合型地域スポーツクラブ活動助成	885	1,414
地方公共団体スポーツ活動助成 (地方公共団体が行うスポーツ教室の開催等を助成)	339	1,077
将来性を有する競技者(タレント)の発掘育成活動助成	80	1,591
スポーツ団体スポーツ活動助成 (スポーツ団体が行うスポーツ教室の開催等を助成)	625	2,907
国際競技大会開催助成(大規模な国際競技大会の開催を助成)	9	544
東日本大震災復旧・復興支援助成 ※ (被災地の総合型地域スポーツクラブ支援事業等を助成)	245	887
東京オリンピック・パラリンピック競技大会等開催助成	5	1,210
スポーツ振興基金助成における優秀な選手・指導者への個人助成への充当	-	713
合 計	2,424	16,562

※「特定目的資金」として積み立てた資金を財源とする助成